



GOURMEDIA KOBÉ '90

神戸の美味しさ、届けます

グルメメディア KOBÉ '90

10/12~11/30

(兵庫県洋菓子協会名誉会長
ボシキール洋菓子店オーナー)
10月14日(日) 14:00~14:45
『キャビキャビギャルのグルメ
最前線』 出演/神戸の女子大
生&OL

10月14日(日) 16:00~16:45

『やっぱり、KOBÉが一番』
出演/小山乃里子(ラジオタレ
ント)、新谷誘紀(彫刻家)
場所はいずれも、三宮さんちか
のVISIONシアターで。いず
れ劣らぬ「しゃべりスト」たちの
軽快なお喋りを楽しんで下さい。

10月13日(土) 15:00~15:45

『わたしが…KOBÉの味で
す』 出演/郭范煌(広東料理
『鼎鼎』オーナー)、霜田利治

今年もまた「グルメメディアの秋」が訪れました。昨年に続いて11月に催される「グルメブロムナード」も、初参加の店舗が数店加わり、フレッシュに開催いたします。今月はさんちかで「グルメ・トーク」と銘打って食のおもしろ話をお届けいたします。その他、10/12~11/30までの50日間、盛りだくさんの企画を、どうぞお楽しみ下さい。

■グルメ・トークの お知らせ

「神戸っ子」たちが大好きな街——「グルメシティ神戸」を、にぎやかに、そして楽しく語りあいます。百戦錬磨のコメンテーターを迎え撃つのは、TV・ラジオでお馴染みの「タージーン」。コウベ・グルメの、とれたて新鮮なネタをお届けします。ぜひ、ご自由にお越し下さいませ。

10月12日(金) 15:00~15:45

「こっそりと神戸のうまいモン



TOPICS

■推薦行事■

市内各所で期間中、計23のグルメイベントが開催されます。選ばれた味が集う嬉しい企画があなたをお待ちしています。(各イベントの一部をご紹介します)

★神戸オリエンタルホテル「オールレストラン秋の味覚フェア」
10/11/10/31 各レストランで多彩なイベント。有料 要予約。

★三宮ターミナルホテル「6つの味のコンチェルト」10/15/11/7 11Fの6店のレストランで多彩なイベント。有料。

★大丸神戸店「世界の洋酒フェア」
10/18/10/23 ワイン、ウイスキー、ビール等約3千種類を一堂に。特設スペインレストランも。
★さんちか名店会「さんちかグルメフェア」10/26/11/4 期間中、抽選で城崎温泉ツアーなど素敵な賞品が。

★ホテルシエレナ「秋のグルメフェア」10/26/11/4 ホテル内のレストランで特別メニューを。

有料。

★神戸ポートピアホテル「収穫祭」秋の味覚とヌーヴォーワインフェア「南館4F」「レヴァンテ」で旬の味覚とヌーヴォーワインを。有料 要予約。

■グルメ■ プロムナード

今年も「神戸の味」を代表する料理店が勢揃いしました。それぞれのとびきりの特別料理と、多彩な特別ゲストを迎えの食談会・音楽会を心ゆくまでお楽しみ下さい。

●日本料理

- 栄楽 西神中央店 9992-0123
キダ・タロー夫妻(作曲家) 11/5
1800/15、000円 20名
露珍(くちん) 3211-5200
露の五郎(落語家) 11/5 1800/25、000円 25名
あじや亭 布引店 2322-2400
内藤園雄(棋士) 11/6 1800/30
中納言 新神戸店 2622-2882
藤本統紀子(タレント) 11/6
西村屋 三宮店 2332-3663
小山乃里子(ラジオタレント) 11/6
1800/15、000円 30名
●フランス料理
北野クラブ 2222-5122
秋篠美穂(女優) 11/5 1800/20、000円 100名
オベック・ファン 8811-5300
石阪春生(洋画家) 11/7 1800/25、000円 30名
グーニ北野 2222-2562
水野正夫(フッシュンデザイナー) 11/7 1800/15、000円 22名
グーニ 2242-0597
峰さ理(女優) 11/7 1800/17、000円 25名
ラ・パージュ 2511-1961
山内美郷(エッセイスト) 11/7



1800/18、000円 20名

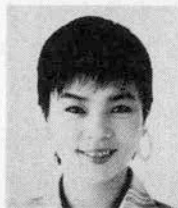
●中国料理

- 鼎鼎(T.E.I.-T.E.) 3333-6888
88 神和佳樹(テニス解説者) 11/5
1800/15、000円 40名
別館牡丹園 御影本店 8211-6666
66 周達生(国立民族学博物館教授) 11/6 1700/50、000円 20名
海星(ハイファン) 3302-0008
村松友藏(作家) 11/7 1800/10、000円 45名

●各国料理

- トム・キャンティ(レストラン&バー) 3312-1222 松本幸三(音楽家) 11/5 1800/20、000円 各40名
ビッグシェフ(ステーキ) 5811-0338 椎名由梨(女優) 11/5 1800/12、000円 25名
オスティア・デル・ギオット(イタリア料理) 3333-7427
五十嵐喜芳(音楽家) 11/6 1800/20、000円 26名
ティファリーナ(メキシコ料理) 2424-0043 エルマノス・ミシナ(メキシカントリオ) 11/6 1900/2100/10、000円 各40名
ロス・ヒタリノス(スペイン料理) 3911-5431 クロー・バルデベニャ(フラメンコシンガー) 11/6 1900/15、000円 30名
百済(韓国料理) 3922-5458 望月美佐(書家) 11/7 1800/18、000円 12名

※当日、都合によりゲスト等が変更になる場合がありますので予めご了承ください



□キャンペーン □国際文化都市神戸を考える

これからの元町を考える

元町は一本の商店街から 多面的な元町界隈づくりを

□座談会出席者（敬称略・順不同）

嶋田 勝次 〈神戸大学工学部建築学科教授〉

西村 兵衛 〈弥生美容院代表取締役会長〉

不破 剛 〈キリンヤ洋品店社長〉

坂田 道治 〈トリーシ船舶来雑貨店社長〉

三木 茂 〈元町四丁目商店街振興組合理事長〉

美田 侑三 〈美田時計店代表取締役社長〉

影山 光行 〈サン・アポロ元町本店社長〉



嶋田 勝次 さん



西村 兵衛 さん

人通りがなくなつたと言われて久しい元町商店街。メリケンパークが出来て客を多少取り戻したものの、ハーバーランド計画や新開地再開発計画によって危機感を一層深める商店も多い。本誌キャンペーン座談会では、その元町の役員のみなさんにお集まりいただき現状や将来への展望をお話いただいた。

★商店街の南側と北側が良くなってきている

——元町の現状や将来像について、おひとりずつお聞かせ願いたいのですが。

西村 連合会長といたしまして、元町周辺をとりまく問題から触れさせていただきたいと思います。一番目としましては、平成四年の秋には神戸駅南側のハーバーランドが完成する予定なのですが、アクセスの問題がわかったようで、まだもうひとつピンときていないというのが現状です。これによって元町商店街が生き残れるかどうかに関わってくると思います。

二番目としましては、ウオーターフロントサミットというのを耳にしていますが、港に人を呼び寄せることが大切なのではないのでしょうか。ニューヨークには自由の女神がありますね。ああいったものが出来ないにしても、憩いの場所を目指し、交流を図れるような施設が欲しいわけです。



影山 光行 さん



美田 脩三 さん



三木 茂 さん



坂田 道治 さん



不破 剛 さん

そして三番目としましては、二、三年前に出た大丸前の商店街の再開発計画です。木曜会を中心として、もう一度結束してハーバーランドに対抗出来るようなものを作るといふ話は聞いていますが、その後はどうなっているか……。

そういうとりまく周辺に対して元町自身、非常に厳しい。商店街の自助努力も必要なのですが、活性化のためには、そういった問題の方向づけが必要なのではないでしょうか。

坂田 私は、二十一世紀の元町はどうあるべきかということを考えて、マスタープランをつくっています。元町は港と一緒に生まれ、育っていったという背景がありますので、ウォーターフロントを取り入れて一緒に発展していこう、というのがひとつの柱です。

もうひとつは、二十一世紀の商業集積地は地域超近隣型と地域超広域型というふたつにわかれるのではないかと考えています。超近隣型というのは生協とかコンビニエンスストアのようなものです。しかし我々はそういうものを目指すのではなく超広域型を目指したいのです。というのは、元町商店街は神戸の都心であったわけですし、今度ハーバーランドが出来たときに、一時間で来れるような大阪や京都からのお客さんを相手に考えなければならぬからです。このふたつを柱に色々な計画を考えています。

世界的にもウォーターフロントの街が注目されているように、我々も港の歴史を背景に発展していかなければならないと思います。

不破 二十一世紀という将来を考えた計画も大事だとは思いますが、足元をしっかり固めるといふか、現在から二十一世紀へのアプローチが大事なんじゃないでしょうか。元町は元町という良さを活かしつつ、二十一世紀に向ってのビジョンを展開していかなければなりません。例えば、五丁目から西に来るとローカルな印象が強い。いろんなことをやろうという意欲も強いと同時に、

逆にブレーキもかかる。経済的に実権を握っている年輩の方は、新しいものに対してアレルギー的なものを持っていますから、昔のいいものを活かしながら将来に向かうということが、我々六丁目の抱えている問題です。

美田 元町全体としてどうあるべきとか、どうしているかという議論は出尽くしていると思います。「人格者」という言葉がありますが、これは他人様が言っていることであって、自分で言ったのでは誰も相手にしてくれません。同じように、元町は老舗とか伝統があるんだとか、もし思い上がっているのだとしたらおかしいのではないでしようか。お客さんにそう言っていただけのように謙虚に努力をする必要があると思います。お客さんの求めている元町とは何なのか、自分の店は果してそれに応えられているのかそれが全然出ていませんね。

三木 今、ハードの部門、ソフトの部門、そして将来の展望が出ました。確かに現在の元町が抱えている問題は数多くありますし、いろんなマスタープランは将来のことを考えてのものです。しかし切迫している感じを受けるのは、やはりハーバーランド計画です。計画が浮上してきたことによって、元町が見直されはじめたわけですから。

影山 先程、美田さんがおっしゃったように、意見は出尽くされていると思うんです。連合会でもPR委員会でも議論を重ねてきました。しかし、最終的には、具体的にどういうことをすればいいかという結論は出ません。ですから、こういうふうにしなさいと言われた方が早いのではないでしようか。

美田 過激な発言ではありませんが、今の商店街に農協をオーバーラップして考えてしまうんです。確かに農産物の自由化に反対を唱えるということは、生きるか死ぬかの問題だからわかるんですが、保護されて発展した団体、組織というのはかつてないわけです。アドバタイジングとかブランニング、イベントというものは各丁が、各個店が競争原理を導入すべきだと思います。組合とい

うのは本来自己保全的な所があって競争原理を導入しにくいのです。組合がいらないとは申しませんが、何もかも組合に頼るのは間違っています。各丁が、各個店がお互いに競争しなければ今日の多様化したお客さんのニーズに応えることは出来ないのです。そういう段階に来ると思います。

影山 これから活性化を全面に打ちたてるなら、当然そういう形になると思います。原点から言えば、個々のお店がパワーアップするというのが最大の街づくりだとは思いますが。しかし、アクセスや駐車場の問題など、ハード面になると、どのように行政とタイアップするかが重要になってきます。そのあたりについては嶋田先生にお聞きした方が早いのではないでしようか。

嶋田 昭和二十九、三十年頃は元町は非常に気持ちのいい街だな、と思っていたんですけど、だんだんと悪くなってきたかと思えて仕方がないんです。かつては個性があったはずなんですけど、最近はおかしくなってきました。それぞれの店舗がさぼってくるんじゃないかと思えて仕方がない。特に、西の方から悪くなってきました。五、六丁目をどうするかということで調査したところ、街自身の照明が汚なくて暗いんです。かつて、三丁目までを残して四丁目から西はやめたかどうかということを言ったときのみんなの怒った顔を思い出します。今でもにらまれているんじゃないかと（笑）。

しかし、その頃と変わっていないと思います。最近になって変わってきたのは、商店街の一本南側と北側が良くなってきたですね。僕以上に元町なんか放っておけと言っているんじゃないかという気がします。

★地元が頑張っている姿勢を見せなければ……。

——かつて元町には旦那衆がいてもっと風格があったと思うのですが。

坂田 私は元町に来て十八年になります。子供の頃から

元町で商売するのが夢でした。いいもの、高いものが売れる。全国的にシェアを持っている。そして道路が広い。ですから先代の方はいいいことをしてくれたと感謝しています。

私は店を構えて最初の十年間は売り上げが非常に伸びました。ところがそれっきりなんです。何が悪いかと考えると、街が悪い。ですから街を変えなければいけないと思って街の仕事をやってるわけです。「ネットワーク21」という都心型青年協議会を作ったときに、これからは神戸対大阪、対京都、対名古屋というふうにしていくべきだと言ったんです。例えば新幹線の各駅に神戸のことを書き立てるような。

嶋田 その意見には同感です。商店街の中だけでの議論がよくなされますが、もっとまわりのことも考えるという必要があります。

坂田 それから、世間一般で言われているように、神戸では、文化・芸術が育たない。これは元町がしっかりしないからだと怒られたことがあるんです。ですから、モーツァルト没二百年の記念にモニュメントを建てる計画があるんです。あるいは中突堤のあたりを埋め立ててオペラハウスを建てるとか。

嶋田 話としては面白いのですが、やはり、ひとつひとつの店がしっかりしなくては。まだまだ個性が足りませんよ。

坂田 いや、みんな商人だから、そういうことはわかってるんです。みんな儲けようと思ってるから、そんなこと言う必要なんかないんです。個店は頑張っただけだと思っんです。

嶋田 いえ、やってないと思うから、私は言うんです。

坂田 個店に頑張ってもらうには、バックグラウンドの整備をぜひ行政にお願いしたいものです。

美田 坂田さんは本当に一生懸命やっておられると思います。ただ、あなたがお気の毒なのは、やればやるほど、あなたに甘える店が出てくるわけです。つまり、町

内がなんとかしてくるだろう、と考えてる店が、我々にとって嘆かわしいんです。

影山 私も坂田さんのパワーはよくわかります。美田さんのおっしゃる通りです。現実問題として、個々のお店がしっかりやるとは限りませんから。

美田 現に後継者が帰って来ないということは、彼らが悪いのではなく、継いでくれなくなりました我々に責任があるのです。うちは幸い息子が帰って来ましたが、息子の言うことにいろいろ反省させられます。誰も自分の店がどうなってもいいと思って商売してる人はいないと思います。みんなバラバラに何か見当違いなことを、それも一生懸命している。方向性のないのが困るのです。坂田さんの悩みもわかります。

三木 私も坂田さんの苛立ちがよくわかります。美田さんがおっしゃるようなことも事実です。しかし、情報化時代ですから、個店が顧客や仕入れ、各店のネットワークをいかにしていくかも大切でしょう。近代的経営にいかん脱皮するかということです。

それと、元町の盛衰にすべてがかかっていると言う人が多ければいいんですが、他に収入源があるから元町に本店を置いておくだけという店が増えていく。

西村 三木さんの言うように情性で商売をしている店が多いですね。基本的には各店が主体のはずなんです。他店の収入が多いから元町はどうでもいいという考え方は間違っています。元町で商売していれば、他店より元町店に来てくれるのが一番有難い。

三木 元町はまだ、名前としては全国区です。全国区だからこそ流行ってなくても本店を置いている。そういう意味では、元町を絶対によくしなければなりません。

嶋田 元町は全国的にも有名な街ですから、もっとよくなって欲しい。私は、神戸らしい店をいつも三軒あげております。フロインドリーブ、デリカテッセン、ミッチヤンの三軒です。いずれも神戸にしかない店で、全国的な展開は何もしていません。ところが、どうして有名な

なってるかといえは、一軒一軒が頑張っているからじゃないかと思うんです。ああいう店がずらっと元町に並べば神戸らしくないと思うのですが。

西村 要は努力しかありません。五丁目には閉まった店がかなりあります。閉めたということも気の毒なことです。逆に残っている店にも気の毒なことです。商店街で閉まっている店が多いということは、一番悲しい状態です。

不破 私は昭和三十年代に会社勤めをしていて、四十年からこの商売という世界に入りました。その頃、一生忘れませんが、元町株式会社というのを作ってはどうかと言ったんです。厚生や人事、給与などの色々な面を含めて大企業に対抗するために作ってはどうか、と。しかし一笑に付された経験があるんです。これから元町を考える場合、ひとつの会社組織のようなものが必要なのではないでしょうか。勿論、個々の店も大切ですが、元町自体の横のつながりを強化しなければなりません。

坂田 元町のスカルポーン、頭脳集団を作って、これからの時代にあった元町、よそと違った元町を作っていかなければなりません。株式会社であってもいいし、とにかく集団が必要なんです。元町の人間も外部の人間も集まれる交流の場、サロンのようなものが今はありません。不破 仮に、そういうものを作るにしても行政とのつながりは大切です。私の父の時代は店を改装するにしても、銀行から借りることなど出来ず自己資金でやってたわけですが、今日では公共からの投資を活用しなくては地域の活性化も出来ない時代になってます。

三木 しかし、地元の人間が頑張っている姿勢を見せなければ、行政もお手伝いしてくれません。

坂田 例えば、私たちは元町の縦の線（通り）に名前を付けようという運動を行って、ハーバーロード、マリンロード、タワールロード、元町パークロードと名付けました。そこまでは出来るのですが、あとの整備は行政に頼むしかないんです。パークロードを整備したらいい店が

集まったのも事実です。

美田 先程、嶋田先生が商店街の北側と南側が良くなっているとおっしゃってましたが、その辺が面白くなったからお客さんは栄町や海岸通りを歩いて、ひよっとしたら商店街を歩いてくれないかもしれません。彼らも実は仲間でありライバルなんです。

嶋田 商店街は今までは一本の道だったのですが、これからは「一本」というのをやめて、北側や南側の道も一緒に考える必要がありますね。

坂田 我々の元町商店街はジョッピング街、ファッション街、北側はグルメ街、南側には南京街や旧居留地、メリケンパークがあります。さらに、栄町のオフィスビルの一階や地下には高級レストランも出ています。ですから縦の線（通り）と横の線（通り）で元町を面として考えなければならぬ時代になっているんです。

影山 それから、元町の美化という点で景観形成条例に基づいて景観形成地域に指定してもらうという方法もあります。もうすぐ南京街は指定されるそうですが、元町もそうならば、今後増改築するときにその基準に従えばもつと統一された商店街が出来ると思えます。基準というのは、我々にとつてのルールブックのようなものですから。

嶋田 指定されるには、地元の人にもかなり協力してもらわないと難しいんです。地元の人がそのルールを考えてくれたら早いんです。

坂田 みんなでルールを作る意欲を見せなければなりませんね。古くから元町に住んでいる人で行政を十分納得させられる位に元町をまとめられるような人が必要なのじゃないでしょうか。

美田 なにはともあれ、お洒落な店、お洒落な街になりたいですね。

嶋田 ぜひ頑張ってください。元町を今まで以上に全国的に評判のいい商店街にするために。

（元町五丁目 元五会館にて）

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。

oh★タカラヅカ対談★

秋に舞う芸術の花

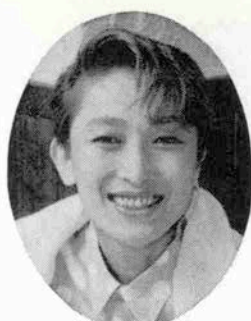
ベルリンの愛



谷 正純
＜宝塚歌劇団・演出家＞



安寿 ミラ
＜宝塚歌劇団・花組＞



朝香 じゅん
＜宝塚歌劇団・花組＞

今、大劇場で華やかに綴り広げられている花組のクラシカルロマ
ン「秋…冬への前奏曲——悲しみの
パ・ド・ドゥ——」と「ザ・シ
ョークース」は10月30日までの公
演です。

今回は、まだお稽古中の花組を
訪ね、「秋…冬への前奏曲——
大劇場デビューの演出の谷正純さ
ん、出演の朝香じゅんさんと安寿
ミラさんたちの、和気あいあい
のお話を伺いました。

★谷正純、第二のベルばらに挑戦
谷 ベルリンの話しだから、東西
ドイツ統一記念作品とか言ったり
してね（笑）。

安寿 民族の対立がヨーロッパに
は多いのですね。

谷 日本では、あまり知られてい
ないから難かしい話しと思われて
しまっけど、ベルばらも初めはそ
うだったはず。今じゃフランス革
命の事は皆が満点取れるようにな
ったでしょ（笑）。



朝香 チェコスロバキアは、チェ
コとスロバキアという2つの国か
ら成っているんですね。

谷 そう。民族の対立とかは、感
覚的には解からないけど、そんな
に難かしくないですよ。

朝香 初め難かしいかなと思った
けど、ストーリーは争いと恋愛が
あって……歴史知らなくてもイイ
かななんて思っちゃって（笑）。

安寿 名前が言にくいのね。ル
コさん（朝香）はコマロフ・フル
スキー（笑）。「伯爵」がまた言い
にくくて、それにコマロフスキー
が付くからコマロスキー（笑）。

谷 ソビエト系の名前だね。北欧
は芸術家が偉くて大切にされるん
だ。大浦みずきが踊る曲はパレレ
フスキーが作ったけど、彼はピア
ノの天才で作曲家になり、初代大
統領になったんだよ。

朝香 先生は、何聞いても教えて
くださるの。まるであの時代に生
きていたように（笑）。



谷 演出家として、ちょっと偉そうにしかなくちや（笑）。

安寿 先生とは、パウホールで3度日本物をしたので、大劇場デビューも日本物と思ってましたが。

谷 僕も思っていました（笑）。でも大劇場は年間のバランスで決めるから洋物になったんだよ。パウは自分の好みが出せるけど、大劇場は組のメンバーに合わせた演出が

必要になってくるんだね。でも花組は上から下まで全員が華やかだから、できるだけ多くの人を使いたくて、時間オーバーで困るよ。朝香 ベルばら・フェルゼン編の時は一時間以上オーバーしてましたよね。

谷 そうそう。やれどもやれども終らない（笑）。

安寿 ほんとに、どうなることか

と思ったけど（笑）、それに比べるとまだましですよ。

谷 見せ場が多いと、どうしても延びて行くん。それと、芝居の中に踊りが繋がるように苦労しているの。

朝香 私は踊らないのだけど、大浦さんがソロで踊るのはステキ！安寿 ルコさん、昨日のお稽古の時、自分に戻って見物してました

よ。皆観客になって見とれて拍手してるのよね(笑)。

★銀橋の大ラブシーン

谷 朝香にヒゲをつけてもらうんだけど、似合うね。何してもよく似合うからすごいよね。

安寿 もう男ですもの(笑)。

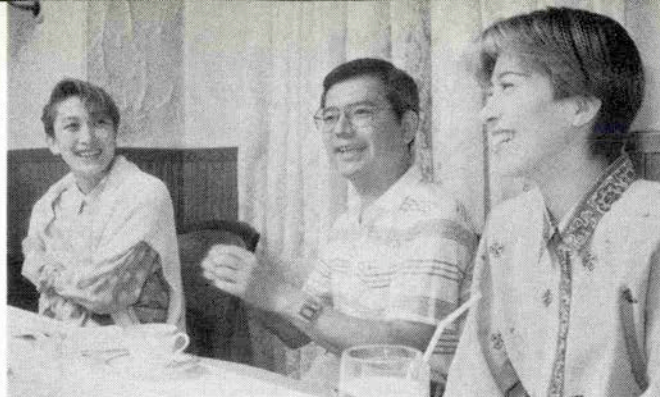
朝香 ちがうって——(笑)。

安寿 髪もヒゲもこなしちゃう。

朝香 異和感なく似合いすぎる自分がこわい(笑)。しかし、昨日のラブシーンは照れましたよ。

安寿 いい場面だもの、皆が我を忘れて見入ってますよ。

朝香 見られると弱いんです。アンドレとオスカルの時も“そんなに見ないでよ”って言いながらお



谷 「安寿は今度、肺病やみはやめて明るい人のいい男の役です」

稽古してたのね。

安寿 そう、私がオスカルの時、あの腕に抱かれてたのかと思うと昨日見ても照れに照れた(笑)。

朝香 やめてー！私もお嫁に行くかもしれないんだから(笑)。

谷 あれは一番男らしい役だぞ。

朝香 仕事一筋の堅い男で、ラブシーンなんてあると思えない役なのに、何故か最後に銀橋での大ラブシーン(笑)。

安寿 すこい迫力ね。

谷 やるなら、フアンの人が“くやしい！”と思うくらいにしなきゃね(笑)。

★裕次郎のキザさで

谷 安寿とは、最初バウの“喉に燃える君”で泣きながら花道を入って来る浮浪児の役だったね。これだと思ったよ。

安寿 浮浪児？(笑)。

谷 皆にのけ者にされて一人淋しく唄いながら……。この人の魅力ってこの頼りなげな色気。華やかさもそうだけど、色気は最高の武器だよ。いつもは死にそんな役でね。

安寿 肺病やみとかね(笑)。

谷 今度、それはやめよう。

安寿 いつもと違って明るいからね。きつとクライイ役と思ってたら、スターの座も恋人も奪われるのに、めっぽう明るい(笑)。

朝香 ほんとに。ヤンは今まで、苦境に立って、ねじれる役が多か

ったよね。

安寿 そう、苦しみ屈折する。屈折すると燃えるんです(笑)。

朝香 でも今度のは、素直に見られて、いい男だよ。この男役っていいなって思うよ。

谷 昔は物語りの中に、こんな人のいい、夢ばかり追っかけているような男が、もって登場したんだよ。

朝香 憎めない男ね。

谷 石原裕次郎の映画ね。港町とギターを抱いた男が出てくるの。座折した男が主人公で、無国籍アクション映画と言われてた。

安寿 若い人には、分らないですよ。

谷 宝塚と似てるんだよ。唄があって踊りもある、最後には主題歌が必ず3番まで流れたり(笑)。そしてセリフのキザさかげん(笑)。

安寿 クサイんですよ。

谷 いかにかキザにするかだよ。宝

劇はそれが許されるからね。

朝香 さりげなくするには、どうしたらいいか考えちゃう。変になっちゃったらどうしよう。

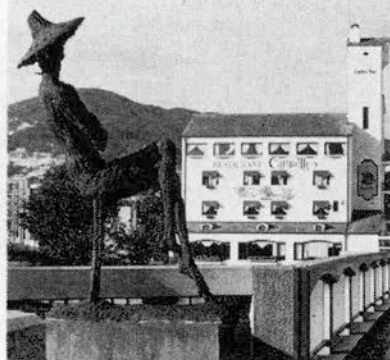
谷 それでいいのよ。思いつきキザにやってみるよ。

朝香 ハーイ。

安寿 芸術の秋、ワイマール文化の中で芸術を志した若者達の情熱を是非見に来てください！

(レストラン カラベルにて)

MESSAGE from TAKARAZUKA



STAGE

●クラシカルロマン
「秋：冬への前奏曲」
アドルフ・ヒトラー

登場に先立つ14年間
第一次、第二次世界大戦の
狭間に咲き乱れた「ワイマ
ール文化」。ヨーロッパ史
上これほど芸術的・文化的
に目覚めていた国はなかつ
たと語り継がれるドイツの
国際都市ベルリン。ここを
舞台に、祖国を捨て「芸術
共同体」をめざし集まった
各国の若者達の、短くも鮮
烈な姿を描く。

1929年のベルリン。
キャバレー「我が祖国」、
アンジェイ（安寿ミラ）を始
めとする亡命芸術家の松舞
台であった。キャバレーの
オーナー・コマロフスキー
伯爵（朝香じゅん）は、若
き芸術家達の支援者とし
て、また、裏では密輸など

で経済的地位を得、夜の街
に君臨していた。

一方、ボヘミアでは、ダ
ンサーのチェコ人のヤナー
チェク（大浦みずき）とス
ロバキア人のナディア（ひ
びき美都）の二人は恋人と
してパートナーとして共に
生きてきたが、両民族の争
いは根深く、ベルリンへと
亡命を企てたが…。



朝香 じゅん

●「ザ・ショーケース」

今までのショーの型式を
破って新鮮な感覚で、クリ
スタルムードいっぱい。美
しい夢がいつぱい続いた
ショーケースの中から、ど
んなエンターテイメントが

飛び出してくるか…。
トランクケースの中から
魔法のように飛び出した大
浦みずきが踊りと歌をたっ
ぷりと見せてくれる。



大浦 みずき



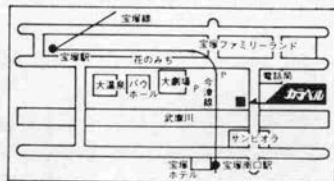
ひびき 美都

★大劇場花組公演①宝塚クラシカル
ロマン「秋：冬への前奏曲」フレ
ッド・「悲恋のバ・ドレリ
ウ」作・演出谷正純②「ザ・シ
ョーケース」作・演出澤英雄。出
演・朝香じゅん、安寿ミラ、大浦み
ずき、ひびき美都、真矢みき他。A 9
500円 B 1600円 C 700
円。新人公演、10/12・18時開演。

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディスイ

●ご宿泊(朝食付) お一様¥5,500
<税別> 全室バス・TV付



阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

NEWS

●友の会へのお誘い
素敵な夢を贈り続け
る宝塚の舞台。そのレ
ディドリマーの世界
への架け橋、宝塚友の会に
あなたも入りませんか。

A会員／六カ月 三千三百
円で毎月「歌劇」を郵送。
B会員／六カ月 三千三百
円で毎月「宝塚グラフ」を
郵送

普通会員／一年 二千二百
円で毎月「宝塚だより」を
郵送

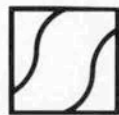
その他、友の会行事への
参加、座席予約などの特典
もあります。

花の道にある友の会サロ
ンには宝塚の情報がいつぱ
い。気軽にお寄り下さい。
お問合わせ・申込みは
宝塚友の会サロン 〒665 宝
塚市栄町1の1の57 ☎07
97(85)6801 郵便振替
口座神戸9-132866

1990-1991
AUTOMNE-
HIVER
SERIZAWA
COLLECTION



花薫るスウェード。
素材に凝る、大人のおしゃれ着。



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695

●レディス ● 本店・さんプラザ店・センター街店・さんちか店・P-4ショップ

●メンズ ● メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



お洒落のための特典いろいろ。
1枚のカードから。

セリザワカード

ふだんが上等だと、365日気持ちいい。



普段着にもちよとおしゃれをしていますか。たまにはお友達を呼んでパーティーをひらきますか。

青い空や花が好きですか。家族と過ごす時間を愛していますか。お気に入りの

ティーカップがありますか……毎日、すこし上等な味つけのできる生活は、素敵です。

映画で標準語憶えたの。

上本 えらいおませやなあ。何の映画観てたん？

野川 “紅孔雀”（笑）。一部から七部まで。それか

“ころもゆったり、ときどきうれしいハブリングもあったり”（西神そごう）には、

とびきり気持ちのいい上等がいっぱいあります。あなたの毎日に、どうぞよろしく。

ハイ・カジュアル主義

SEISHIN SOGO OPEN



TEL.(078)992-2111

全館7時まで営業
1階食料品街は8時まで
5階レストラン街は9:30分まで

10月29日/月まで休まず営業





姫路駅南両店共、明るい陽差しにあふれる
アルな雰囲気にもまれています。
に、おしゃれを楽しむなんて、素敵ですね。
の街の、イズムです。

ISM

ISM PRESENTATION 仁川店

仁川町2丁目4-13 ベルドルⅡ 仁川1F TEL0798-51-1972(直)

TOWN TOPICS

SHOP INFORMATION

イズムから、ISM仁川店とISM姫路駅南店の
2つのアンテナショップがオープンしました。
“KOBE”からのファッションな情報を
より早く、お楽しみ下さい。



EXCELLENT SHOP

ぐった一点を…。

anoh

中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

5真ごころ最高の風格

田音吉洋服店

中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

「御機衣縫上處

コシヤリ

中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

子

ムジキム キシン

中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

品ブティック

ターニュートン

中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

民の人々に愛される

シオカ

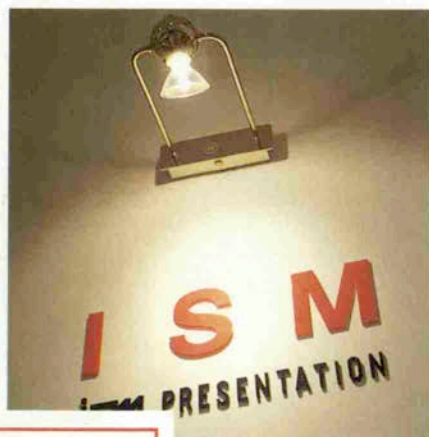
中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

家具・設計・創作

田良介商店

中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737-9

シリーズは上記の専門店の提
なるものです。



ISM

ISM PRESENTATION 姫路駅南店

〒670 姫路市南駅前町100 ホテルサンガーデン姫路1F TEL0792-22-3351(直)



心の心が集つく
株式会社イズム
 神戸市中央区布引町1-1-10
 ☎ (078) 222-3641

西欧の芳香に、誘われる。



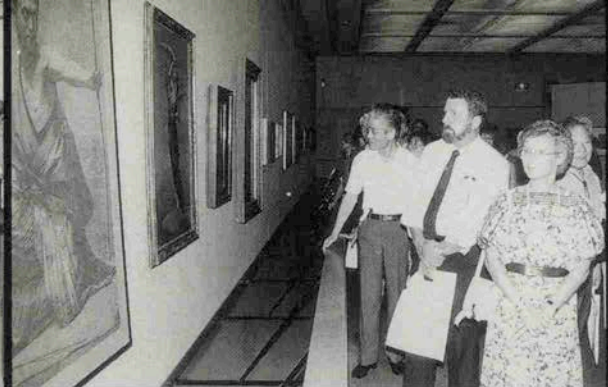
チュールの向う側に
パリの憂鬱、ローマの鼓翼、
ヴェネツィアの讃歌が響く。
フォーマルな夜をヨーロッパの
洗練された美しさで飾るとき、
夢のひとつがはじまる。

maxim

KOBE TOA ROAD TEL078-331-6711



ユニークな展覧会に
たくさんの人々がかけつけた



熱心に鑑賞するギャラリー



金井元彦館長

兵庫県立近代美術館 開館20周年特別展

●コウベスナッブ

NHKドラマ「デュエット」 撮影快調！

兵庫県立近代美術館が開館20周年を迎え、それを記念した特別展「日本美術の19世紀」が同美術館で開催された。開館以来一貫して彫刻、版画、郷土出身芸術家を中心とした作品の収集につとめ、他にない特色ある美術館をめざし活動が続けてきた同美術館らしいユニークな展覧会となった。

NHK大阪放送局制作のドラマ『デュエット』の神戸ロケが8月下旬から9月中旬にかけ、灘の造り酒屋や六甲アイランドなど神戸の各地で行われた。小誌編集室でも9月9日6時から10時すぎまでロケが行われ、緊張した空気に包まれた。放送は11月に4回シリーズの予定。

出演者のみなさん



小誌編集室で行なわれた撮影の様様



主演の平田満さん

